

- ◆企画名 交換留学生キャンパスツアー
日 程 平成 24 年 3 月 27 日 (火)
場 所 千里山キャンパス
参加者数 35 名 (KUブリッジ 8 名、来日時ボランティア 7 名、留学生 20 名)
目 的

来日して間もない留学生に、これからの学生生活を行っていくキャンパス内を案内することで、少しでも早く大学に慣れてもらう。あわせて、使用する頻度の高い施設を重点的に説明することで、今後の学生生活を円滑に進められるようにする。

内 容

[実施形態]

KUブリッジメンバーが留学生と来日時ボランティア（日本人学生）を引率し、キャンパスの主要な施設を案内して回る。図書館案内は KU コアラが担当する。（図書館内では留学生 5 名、日本人学生約 3 名の 4 班に分かれて回った。）

[行程]

※凜風館（食事）→※図書館→保健管理センター→岩崎記念館→第 1 学舎→あすかの庭（集合写真撮影）→ITセンター→※教務センター→100 周年記念会館→※国際部交流室

※のついた施設は施設の中に入る。

[当日の必要物]

- ・拡声器
 - ・プラカード
 - ・キャンパスマップ、当日のタイムスケジュール表
- （参加者、引率者合わせて約 40 部）
- ・キャンパス案内（留学生分約 20 部）
 - ・図書館案内（留学生分約 20 部）
- ※KU コアラ委託
- ・カメラ
 - ・名札、ネームタグ（留学者、引率者合わせて約 40 個）
 - ・筆記用具



感 想

私はキャンパスツアーを担当するのは 2 回目でした。以前に経験していたこともあり、スムーズに進められました。企画当日は、留学生と日本人学生の人数が少なかったこともあり、仲良く和気あいあいとキャンパスツアーをできてとても良かったです。

改善点

- ・施設案内の際、説明文の日本語を理解できていない留学生が多かったため、より簡単な日本語解説を考えるべきだった。
- ・事前に班分けをしていたのでスムーズに動くことができたが、列が乱れてしまうことが多々あったので、班をより細分化したほうがよかった。
- ・来日時ボランティアの方は全員参加にもかかわらず来ない人が多かったので、国際部との情報共有をもっとすべきだった。
- ・配布資料が多く、かさばってしまっていたので、ホッチキスでノート状にするまたはファイルに全部入れて渡すなどの工夫が必要だった。
- ・去年のキャンパスツアーと同じ担当者であったため、お互い少し余裕があり、かえって情報共有が不十分だったので、役割分担を明確にし、事前リハーサルもやるべきだった。